

令和7年第回定例会(3月議会)の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和7年第1回定例市議会（3月議会）は、2月25日から3月25日の29日間開催されました。令和7年度一般会計予算等の予算議案17件、条例議案22件、その他議案1件、人事案件4件、報告案件3件、請願1件、決議1件の計49件が上程され、全ての議案等を原案どおり可決しました。

令和7年3月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 令和6年度一般会計補正予算(第7号)

補正額2億6171万円(補正後予算額492億2673万円)

《新規・拡充事業（抜粋）》

□小・中学校屋内運動場環境改善事業；1798万円

- ・ 猛暑対策のため、市内全小中学校（小学校21校及び中学校10校）の体育館に気化式冷風機を設置
- ・ 各学校に3台配備

涼風のしくみ

- 1 タンクの水をポンプでくみ上げ、冷却エレメントに注ぎます。
- 2 冷却エレメント内の水は空気と接触し、気化します。
- 3 冷却された空気は大型ファンにより速くに送られます。

水滴飛散なし

2022年8月の晴れの日の最高気温とその時の湿度
(気象庁ホームページより)
最高気温は約35℃～37℃で、その時の湿度は約40～50%です。

都市	最高気温	湿度
仙台	35.4℃	50%
東京	35.9℃	53%
名古屋	36.9℃	42%
大阪	35.2℃	50%
福岡	36.3℃	46%

排熱なし

スポットエアコンのように排熱が出ることはありません。

フロンを使用していないのでフロン排出抑制法には該当しません。

RKFシリーズには法的点検義務はありません。

□防災管理事業；581万円

- ・災害用簡易ベッドを440台購入することに伴う増額補正



□小・中学校トイレ改修事業；1260万円

- ・屋外トイレの洋式化改修工事（鶴居小学校、今津中学校）

□物価高騰対策緊急支援事業；2034万円

- ・物価高騰の影響を受ける各社会福祉施設に対して、物価高騰相当額を支援する。（県1/2，市1/2）

【対象施設と支援額】

- 障がい者福祉施設（入所系施設362人×@10,000円、通所系施設49施設×@80,000、訪問・その他30施設×@30,000）
- 高齢者福祉施設（入所系施設1,104人×@10,000、通所系施設39施設×@80,000、訪問・その他227施設×@30,000）
- 放課後児童クラブ等（市内民間児童クラブ26施設×@30,000、子育て支援拠点1施設×@30,000、こども食堂6施設×@30,000）
- 保育所等（認可保育所799人×@3,000、認定こども園1,750人×@3,000、認可外保育施設308人×@3,000、病児保育施設14人×@3,000）
- 子育て支援拠点施設（3施設×@30,000）

□有害鳥獣捕獲奨励金；1304万円

- ・鳥獣被害を減少させるために、有害鳥獣捕獲奨励金の交付などを行うもの
- ・捕獲頭数が増加していることによる増額補正
- ・補正後予算額；5564万円



□ 樋田中島線災害防除事業；2000万円

- 市道樋田中島線（青の洞門）岩盤崩落による崩落危険箇所への法面調査結果に基づく法面・落石対策工事
- 令和7年秋の観光シーズン前に完成予定

但し、名勝耶馬溪の指定区域にあり、文化庁への手続き等により遅れることも想定される。



2. 令和7年度一般会計当初予算474億5256万円 (前年度比 15億1609万円 +3.3%)

予算規模は前年度より15億1609万円の増額となり、過去最大規模。

防災・減災、少子高齢化対策、子育て支援、若者や女性への支援、地域経済の好循環、物価高騰対策、GX・DXの推進など、様々な施策を盛り込んでいる。

普通建設事業については、前年度より3億5524万円の減額となり、鶴居児童クラブ整備、三保小学校整備、大幡幼稚園整備に係る経費などを計上。

【財政の健全性】

持続可能な財政基盤の確立のため、「行政サービス高度化プラン2022」の基本目標である令和8年度末に「財政調整用基金残高30億円以上」、「公共施設等整備基金残高7億円以上」、「市債残高400億円以下」を堅持する。

- | | | | |
|-----------------|-----------|-----------------------|-------------------|
| (1) 財政調整用基金残高 | R5 59.1億円 | R6 52.6億円 | <u>R7 35.8億円</u> |
| | | ※R6,R7は、R7当初予算編成時の見込み | |
| (2) 公共施設等整備基金残高 | R5 12.6億円 | R6 13.1億円 | <u>R7 13.1億円</u> |
| (3) 市債残高 | 367.8億円 | R6 390.1億円 | <u>R7 386.2億円</u> |
| | | ※R6,R7は、R7当初予算編成時の見込み | |

□コミュニティバス運行事業；8166万円

(三保線) 中津駅～市民病院～洞ノ上～北原東～市民病院～中津駅

(豊前中津線) 豊前市役所～吉富町役場前～ゆめタウン前～市民病院

(三光支所) 西秣線、深水・小袋 デマンドバス

(耶馬溪支所) 山移南線、深耶馬東線、山移北線 外10線

(山国支所) 溝部槻木・三郷1・三郷2 デマンドバス

(本耶馬溪支所) 屋形線、東谷線、西谷線

→令和7年度より各路線月1回イオンモールまで試験運行

◎既存路線	西谷線 (月・木)
	屋形線・東谷線 (火・木)
◎試験運行	各路線 月1回水曜日
	イオンモール三光まで延伸



□UJIターン推進事業（移住支援金・移住応援給付金）

；1490万円

- ・ 県外から移住した方に対して移住支援金を支給する。
- ・ 令和7年度からは移住対象地域を旧下毛地域から市内全域に拡大し、旧下毛地域に移住した方に対して加算の給付金を支給

【移住支援金】【事業の概要】

県外から中津市に移住して1年以内のもので、国・県が定める就業要件等を満たしている場合、移住に係る経費として移住支援金を一括給付します。

【補助額】

- ・2人以上の世帯 100万円 ・単身世帯 60万円
- <加算> 18歳未満の世帯員を帯同している場合（上限2名まで）
- ・東京圏 100万円 ・東京圏以外 30万円

【移住応援給付金】【事業の概要】

県外から中津市に移住したものを対象に、移住応援給付金を一括給付します。

【補助額】

<令和6年度まで>
子育て世帯 30万円
その他世帯 20万円



<令和7年度から>

世帯当たり 20万円
==加算金==
①こども（18歳未満） 1人10万円
（上限20万円）
②若年者（18歳～39歳） 世帯10万円
③旧下毛地域加算 世帯10万円
※①と②の併給はできません

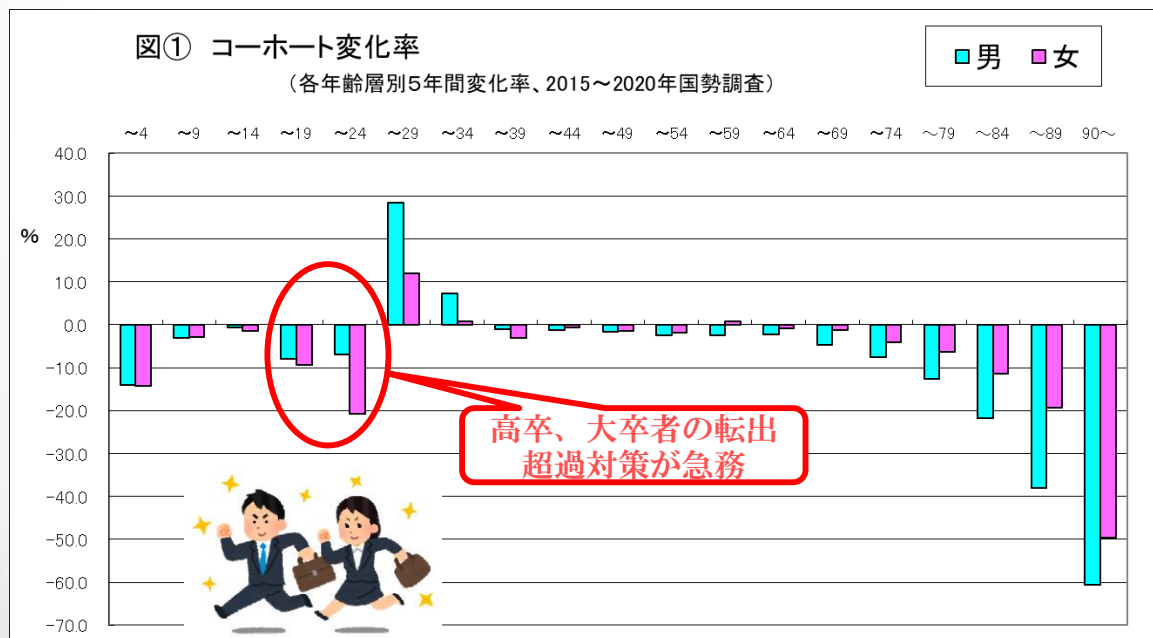
□ 【UJIターン推進事業】 奨学金返還支援事業；400万円

- ・ 中津を離れた若者を再び呼び戻し、雇用の確保、定住率の向上及び将来の地域を担う人材の確保を目指すため、奨学金の返還を支援する。

【対象者】以下のすべてを満たす方

- ・ 中津市へUターン（市内の小・中・高のいずれかを卒業）した者
- ・ 中津市に住所を有する30歳未満の者（5年以上居住する意思のある方）
- ・ 市内企業に就労する正規雇用者、正規に準じた雇用形態の非正規雇用者、新たに個人事業や起業を行った者、農林水産業に従事した者（出向・派遣・転勤、公務員等を除く）

【支援額】年間上限10万円・最長5年間（最大50万円）



2020年国勢調査データにより、島根県中山間地域研究センター人口推計プログラムで、大塚作成

□【在宅老人支援事業】認知症支援事業；102万円

- ・認知症高齢者の支援としてGPS機器の貸与を行う。
- ・令和7年度から新規にSOSネットワーク登録者及びその家族が地域で安心して暮らせるよう「認知症高齢者等個人賠償責任保険」に加入する。
- ・認知症の高齢者等が日常生活における故意ではない事故により第三者に対して法律上の損害賠償責任を負った場合において、これに伴う損害を補償する保険です。自己負担はありません（保険料は、市が全額を負担します）



中津市認知症高齢者等SOSネットワーク

認知症等により、行方不明になる恐れのある方につき、事前にその方のお名前やお写真を登録し、実際に行方不明となった場合に、中津警察署・中津市消防本部・中津市が情報共有を速やかに行い、早期発見に資する事業となっています。また、ご家族の希望があれば、その他協力機関への搜索を依頼し、早期発見へ繋がります。

□大幡児童クラブ整備事業；4284万円

- ・大幡幼稚園園舎の改築に合わせ、児童クラブを併設することにより、学校施設との複合化による待機児童の解消を図ります。
- ・全体事業費；6120万円
- ・事業期間；令和6年度～令和8年度
- ・定員；45名



□鶴居児童クラブ整備事業；1億938万円

- ・鶴居児童クラブは、施設の老朽化に加え、建物が狭く、令和6年度は利用定員を大幅に超過した数の児童が入所している状態です。待機児童の解消、安全・安心及び快適なこどもの居場所づくりのため、建物を増改築し、定員を53名増。（現行37名⇒90名）
- ・事業期間；令和7年度

□三保児童クラブ整備事業；1458万円

- ・三保小学校校舎の改築に合わせ、児童クラブを併設することにより、学校施設との複合化による待機児童の解消を図ります。
- ・全体事業費；3462万円
- ・事業期間；令和6年度～令和8年度
- ・定員；36名（現行27名⇒36名）

□不妊治療助成事業；150万円

- ・不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減及び少子化対策の推進のため、不妊治療費の助成を行う。
- ・令和7年度から不育症治療及び回数・年齢超過による保険適用外治療も対象とする。

【主な事業費】

【拡充】不妊治療費助成

- 助成対象者：婚姻関係にある夫婦及び事実婚関係の夫婦
助成範囲：昨年度までの助成に加えて、回数超過による保険適用外治療・妻の年齢超過による保険適用外治療について妻の年齢にかかわらず3回まで追加助成
助成額：10万円/年 ※治療費の7割まで
事業費：10万円×8件
※令和7年4月以降開始の治療から対象とする

【新規】不育症治療費助成

- 助成対象者：不育症検査等で不育症と診断された夫婦
助成額範囲：上限20万円/1出産（助成回数・妻の年齢共に制限なし）
※治療費の7割まで
事業費：20万円×1件
※令和7年4月以降開始の治療から対象とする



□中津市看護師確保対策事業；300万円

- ・中津ファビオラ看護学校が看護、准看護学生確保対策として実施する修学援助事業の支援として、市から補助金を交付する。（看護学科30万円/人、准看護学科20万円/人）
- ・令和7年度から准看護学生も支援対象とする。

□救急医療電話相談事業（#7119）；168万円

- ・救急医療電話相談事業(#7119)とは、住民が急な病気やけがをしたときに、「救急車を呼んだほうがいいのか」、「今すぐ病院に行ったほうがいいのか」などで迷った際の相談窓口として、専門家から電話でアドバイスを受けることができる仕組みです。
- ・大分県を実施主体として県内全域で利用可能となります。

病院へ行く？
救急車を呼ぶ？ 迷ったら・・・

#7119

緊急だと思ったら、ためらわずに119番通報を！！

- ・受付時間：平日・土曜日は午後7時から翌朝8時、日曜・祝日は午前8時～翌朝8時
- ・対象エリア：市内全域
- ・相談内容：受診の必要性や緊急性のアドバイス、医療機関案内など
- ・料金：相談は無料（通話料は相談者の負担）
- ・注意事項：激しい痛みや呼吸困難など緊急性がある場合は、すぐに119番通報する。
また、子どもが病気やけがで心配なときや、病院へ行った方が良いかどうか判断に迷ったときには、大分県こども救急電話相談事業（#8000または097-503-8822）を利用することもできます。

□猫不妊去勢手術費補助事業；35万円

- ・飼い主のいない猫の繁殖による地域住民の生活環境の悪化を防ぐため、地域猫活動を行う団体に対して、不妊去勢手術費用について補助金を交付する。

【助成対象・助成額】

飼い主のいない猫（野良猫）への不妊・去勢手術に要する費用

去勢手術（オス）	1頭につき上限 5,000円
不妊手術（メス）	1頭につき上限 10,000円



□水産環境整備事業；274万円

- ・今津沖にマコガレイやキジハタ等の生産量増加と生産性確保に向けた漁場を整備（令和7年度～令和11年度）



幻の超高級魚「キジハタ(アコウ)」

□中山間地域創業・事業承継支援事業；500万円

- ・集落機能の維持及び中津市への定住促進による地域の活性化を図ることを目的に、中山間地域(三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地域)で創業・事業承継をする方を対象に創業等に要する初期経費を助成します。
- ・令和7年度から、新規事業に加え事業承継も支援の対象とし、さらに居住要件を旧市内にも拡大します。

対象者	中山間地域で創業又は事業承継をする移住者、定住者
対象事業	3年以上継続が見込まれる中山間地域の課題解決や住民の生活向上、地域振興に資する事業 ※ただし、旧市内居住者については、生活の利便性を向上させる事業や観光に資する事業に限定
対象	創業・事業承継に要する経費（工事費、設備費、役務費）
補助率 補助限度額	中山間地域定住者：対象経費の2/3以内 旧市内定住者：対象経費の1/2以内 補助限度額：100万円（千円未満切捨て）

□本耶馬溪観光振興事業；200万円

- ・令和6年度より日本文理大学及び別府溝部学園短期大学との大学連携事業を取り組んでいます。今年度は学生からの提案を実現するため、観光におけるハード整備やイベント実施、中津市産そばを使った加工品の商品化・宣伝活動等に取り組みます。

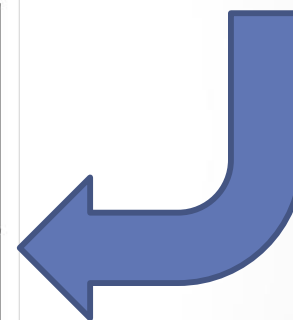
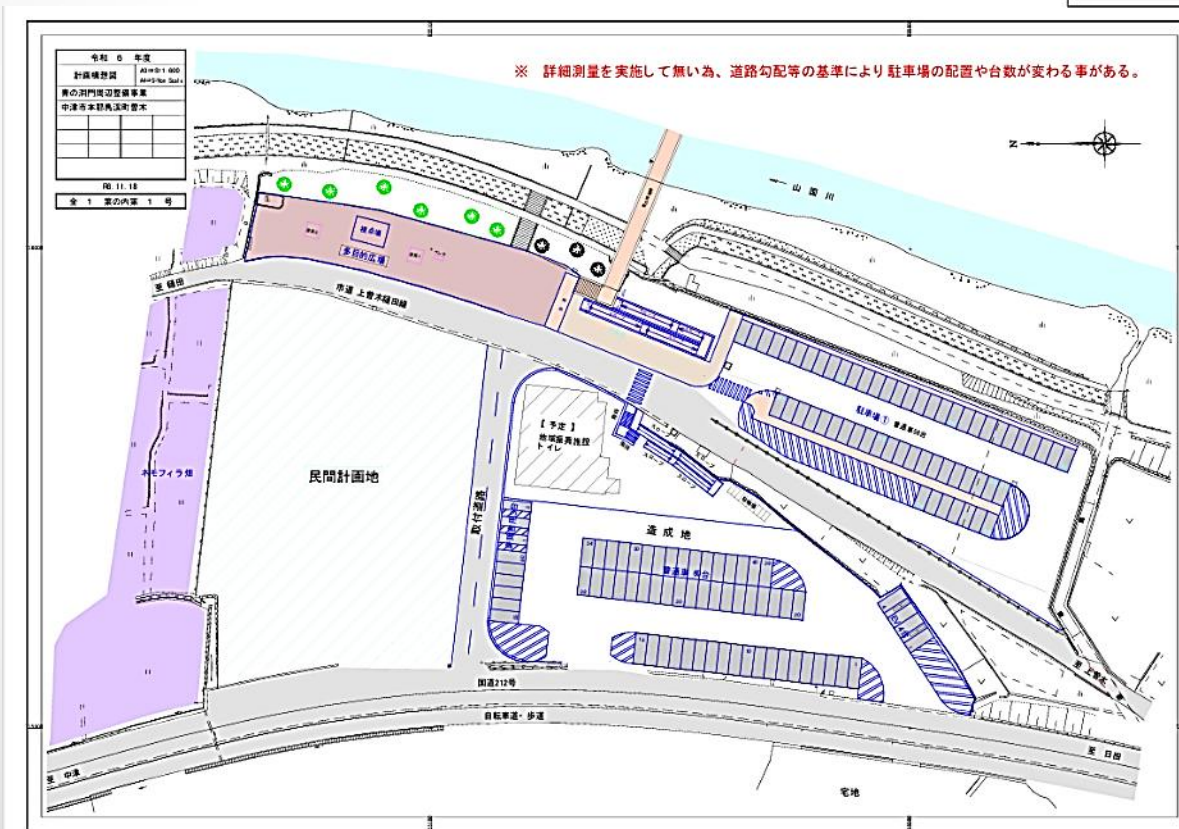
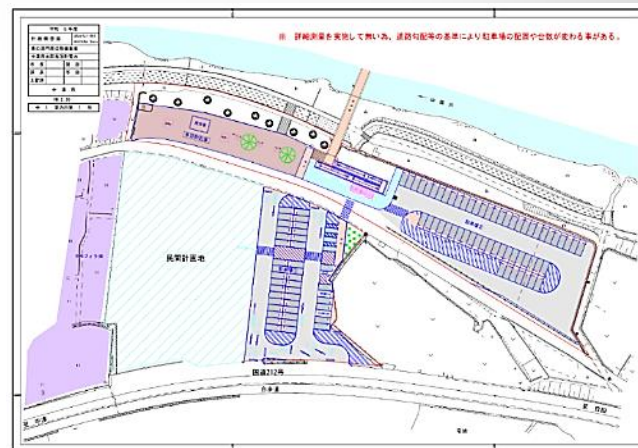
【大学連携事業の概要】

- ①別府溝部学園短期大学；中津市産そばを使った加工品の商品化及び宣伝活動など
- ②日本文理大学；ジップライン（洞門キャンプ場）やテントサウナ（やかた田舎の学校）の設置、バイカー向けイベント（青の洞門周辺）の実施など



□青の洞門周辺整備事業；6348万円

- ・ 青の洞門周辺観光の入り口として、観光客の利便性向上及び誘客につなげるため、青の洞門対岸の用地を購入し駐車場・視点場を整備
- ・ 令和7年度：設計委託、用地取得など



当初計画からの
変更

□企業立地促進事業；2億8166万円

- ・中津市内で新設・増設した企業に対する助成金（用地取得・設備投資・新規雇用者・固定資産税等）
- ・令和7年度より、大規模投資促進助成金を新設し、固定資産税助成の上限額を設定する。

□木造住宅耐震化促進事業；590万円

- ・木造住宅の耐震診断・耐震改修に対して補助金を交付する。
- ・耐震診断（補助上限11万円⇒14万円）
- ・耐震改修（補助上限120万円⇒150万円）



- 宮永角木線街路事業；7500万円
 - ・道路改築・側溝工事、建物等補償など
 - ・令和8年度完成予定

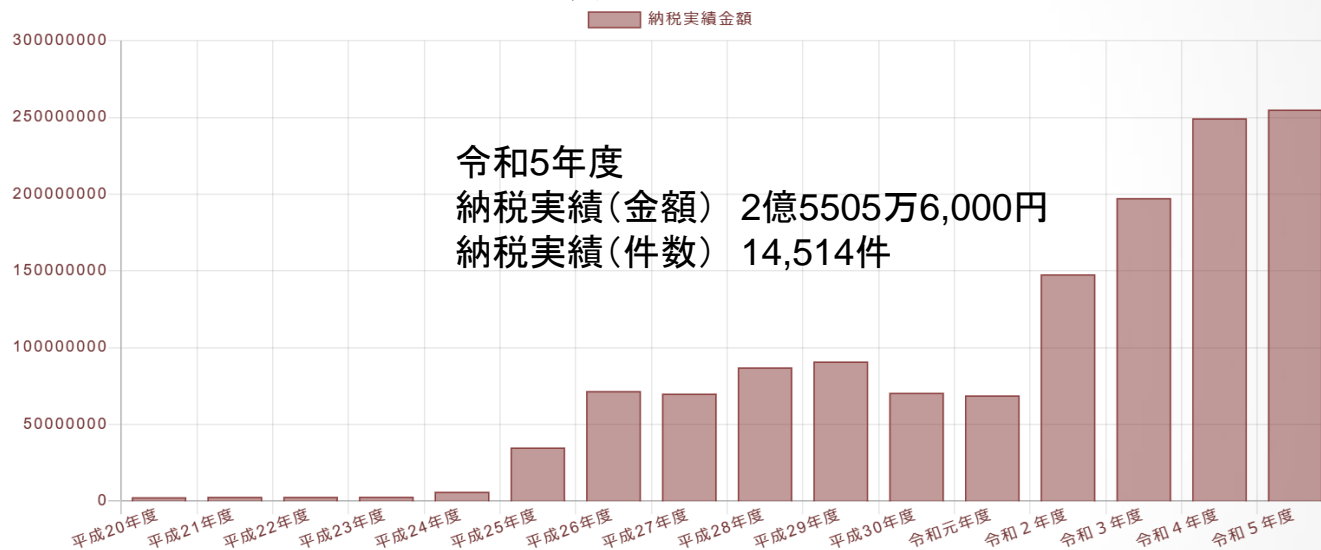


- 二ノ丸公園トイレ建替事業；3760万円
 - ・二ノ丸公園内にあるトイレの建替



□ふるさとなかかつ応援寄附金推進事業；2億円

- ・ふるさと納税の受付から返礼品発送に関する経費
- ・ふるさと納税ポータルサイトからの受付、各種決済に対応できるようにする。
- ・ふるさとなかかつ応援寄附金目標額：4億円



□非常備消防施設整備事業；1億1660万円

- ・消防団詰所LED化（6分団）
- ・消防団詰所解体（山国宇曾）
- ・消防団詰所新築（今津・植野）
- ・防火水槽撤去（三光佐知）
- ・消防団小型ポンプ車更新（5台）



□常備消防施設整備事業；6983万円

- ・やまくに通信中継基地エアコン改修
- ・消防本部施設改修（屋上、トイレ、進入路、駐車場）
- ・高規格救急車更新（1台）



□津波避難ビル看板設置事業；208万円

- ・津波発生時に緊急避難を行う津波避難ビル(全22か所)に、夜間停電に備えた蓄光型津波避難ビル看板を設置します。
- ・また、看板に5か国語(英語、中国語・簡体字、韓国語、インドネシア語、ベトナム語)を表記します。



□小・中学校防犯カメラ設置事業；2200万円

- ・小・中学校に防犯カメラを設置し、児童・生徒の安全性の確保及び不審者侵入の抑止を図る。
- ・小・中学校10校(小学校6校、中学校4校)に防犯カメラを設置

令和8年度以降；予算に応じて随時設置。

- ・1校あたりカメラ5台(正門×1、裏門×1、昇降口×2、玄関×1)



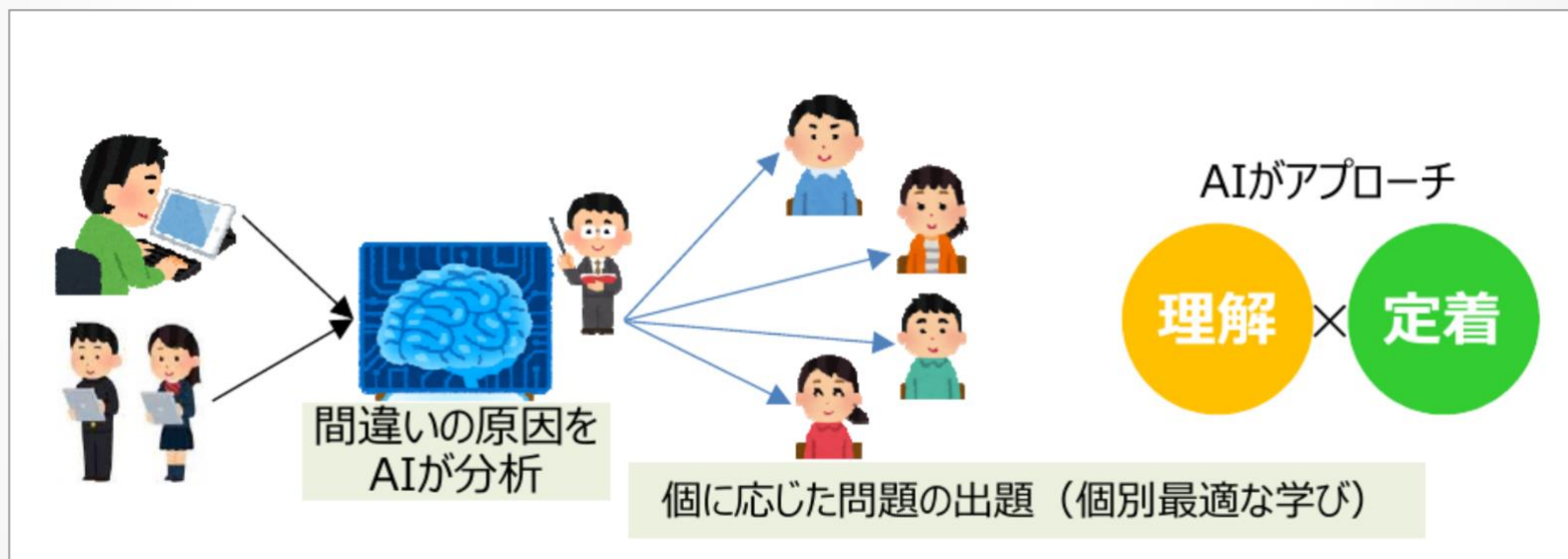
□水泳授業指導者派遣事業；95万円

- ・小学校低学年の水泳授業において、専門指導者を派遣することで、児童の安全性・教育効果の向上、教職員の負担軽減を目指す。
- ・対象：小学校低学年（1・2年生）、授業2コマを想定



□ AI型ドリル導入事業；1768万円

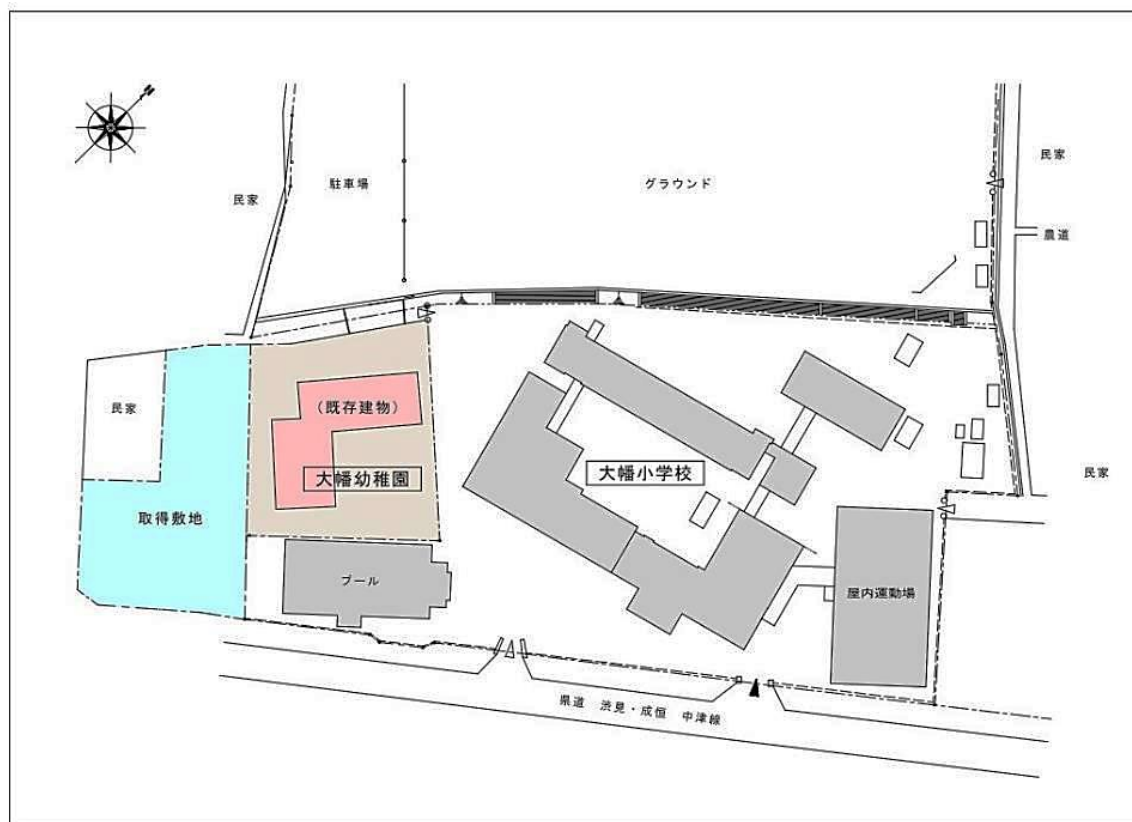
- ・児童生徒一人ひとりに合わせたきめ細かな対応を行い、それぞれの苦手分野を克服するためのAI型教材を導入する。
- ・対象児童、生徒；小学5・6年生（令和7年度より5年生追加）、中学1・2年生



AI型ドリル(Qubena(キュビナ))は、①搭載している数万問から一人ひとりに個別最適化された問題を出題することができ、②ペンを使った手書き問題の自動文字認識等により、AIがつまづきのポイントを特定し、過去の単元・前学年の分野などにも戻ることが可能です。さらに、③学習データをリアルタイムに収集・分析する学習管理ツールが備わっているアプリケーションです。

□大幡幼稚園改築事業；1億7138万円

- 建築後66年が経過し、老朽の著しい大幡幼稚園の環境改善を図る。
- 事業年度：令和6年度～令和8年度
- 全体事業費：4億681万円
- 令和7年度：本体工事、手数料



□ 長者屋敷官衙遺跡整備事業；5265万円

- 国指定史跡である長者屋敷官衙遺跡について、地域学習の場、市民に親しまれる遺跡公園として整備する。
- 事業年度：令和元年度～令和12年度
- 全体事業費：3億4379万円
- 令和7年度：用地購入費、補償費、実施設計、トイレ棟基礎工事ほか



当初計画案(総事業費約6億5,000万円)

3. 条例の改正

□中津市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

(要旨) 消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、非常勤消防団員に支給する退職報償金の額を増額し、非常勤消防団員の処遇改善を図るための改正

(単位 千円)

階級	勤務年数						
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以 上20年 未満	20年以上 25年未満	25年以 上30年 未満	30年以 上35年 未満	35年以 上
団長	239	344	459	594	779	979	1,079
副団長	229	329	429	534	709	909	1,009
分団長	219	318	413	513	659	849	949
副分団 長	214	303	388	478	624	809	909
部長及 び班長	204	283	358	438	564	734	834
団員	200	264	334	409	519	689	789

新設



□中津市立中津市民病院及び小児救急センター使用料及び手数料条例の一部改正

(要旨) 無痛分娩を実施することに伴い、新たな料金を設定し、妊婦等が抱える出産時の痛みに対する不安の解消を図るための改正



区分		単位	金額	備考
分娩料	略	略	略	略
無痛分娩料	硬膜外麻酔による場合	1回につき	100,000円	分娩料に加算して徴収する。
	鎮痛剤の注射による場合	1回につき	10,000円	分娩料に加算して徴収する。
略	略	略	略	略

□中津市企業立地促進条例の一部改正について

(要旨) 大規模投資により半導体、蓄電池等の特定重要物資を製造する企業等に対する助成措置を創設するための改正

【改正内容】

①「大規模投資促進助成金」の新設

対象業種：特定重要物資産業に関する製品やその部品に係る製造業（半導体や蓄電池など）、自動車関連製造業、窯業

要件：設備投資額 20億円以上 かつ 雇用従業者数 30名以上

助成内容

①用地取費に対する助成 30%（上限額8,000万円） (別表)

②設備投資に対する助成 5%（別表）

③新規雇用者数に対する助成 1人当たり20万円
（上限額2,000万円）

区分	雇用従業者数	助成上限額
1	30人以上 50人未満	8,000万円
2	50人以上 100人未満	1億円
3	100人以上	2億円

②固定資産税助成の上限額

固定資産税に対する助成（新設3年、増設1年）の上限額を3,000万円に設定します。

【期待される効果】

半導体や蓄電池などの製造業で特に投資額や雇用人数が多い企業を対象として、中津市への進出決定を後押しするため、優遇制度を充実させます。

企業の進出で雇用の場の創出や地域の経済成長、それによる市税収増など様々な効果が期待されます。



4. 人事

副市長

前田 良猛 67歳 再任
(平成29年4月より現職)



監査委員 (議会選出)

木ノ下 素信 62歳 当選3回



5. 請 願

- ・ 中小企業等の人材確保の為の総合的な情報交換・意見
発言の出来る会議体の設置に係る請願

(要旨)

働ける人の確保は、今後の中津市を考える上で重大な問題であり、様々な人が“働ける場所中津”という気運を醸成していく為にも「オール中津」で考え、発信していく場を持つ事が重要かと思えます。これまでの、関係各位のご尽力に敬意を表しますと共に、厳しさを増す経営環境を改善していく為にも、包括的な「人の確保」に於ける情報共有・意見発信・提言の出来る会議体を設置して中小企業の人材確保を充実させたく、お願いいたします。

【請願者】大分県中小企業家同友会中津支部
支部長 原田敬史さん



6. 議会決議【採択】

- ・ **カスタマーハラスメント根絶により誰もが安心して働ける環境と事業活動ができるまちづくりを目指す決議**



(要旨)

近年、顧客や団体による過度な要求や不当な振る舞いによって労働環境や企業、事業主が脅かされ、働く人々の心身の健康や事業活動に影響を及ぼすカスタマーハラスメント（カスハラ）が全国的な問題となっている。中津市内においても同様に民間の就業者や企業、団体、事業主に対して悪質なカスハラが発生しており、早急な対応を求める意見が議会、議員にも寄せられている。

そこで、中津市として、「カスタマーハラスメント根絶により誰もが安心して働ける環境と事業活動ができるまちづくり」を宣言し、そのまちづくりを実行するため、カスハラの実態調査を行うとともに、カスハラの実態調査、通報、相談窓口の設置やカスハラ行為の確認・認定を行う対策委員会の設置、制裁措置などを盛り込んだ「カスタマーハラスメント防止条例」を制定することを強く求める。

7. 自由討議

(1) 地域福祉の充実、安心して暮らせるまちづくり

(補足説明者：山影 智一 議員)

- ① 「おひとりさま」等について
- ② 隠れた高齢者ケアについて
- ③ 地域福祉ネットワーク等の整備
- ④ ボランティア、なり手不足について
- ⑤ 高齢者等終身サポート事業等について



【私の提言】

第1次から3次の中津市地域福祉活動計画において、北部校区で議論したことが何も実現することができなかった。令和4年度からの第4次計画の策定の段階から「地域福祉ネットワーク会議」を設立ことを念頭に計画を策定し、現在ネットワーク会議を中心に、北部校区の抱える課題解決にむけて各種取り組みを進めている。ネットワーク会議の運営は、会長、事務局長、部会長を中心に進められており、若い世代を如何に取り込んでいくかが今後の課題である。本年3月には「北部ふれあい祭り」を開催し、各部会のテーマごとにブースを設け、800名を超える方々に参加していただいた。

(2) 地域コミュニティの活性化に向けて

(補足説明者：木佐貫 佳子 議員)

- ① 地域力の低下の現状は
- ② 地域を支える（自治委員、民生委員など）
人材の確保をどうすればいいか
- ③ 活性化に向けた市としての支援策は



【私の提言】

全市的に見ると経験が0～2年未満の自治委員が多いが、北部校区では6年以上の方が多。私の自治会では昨年の自治会役員の改選で、役員づくりに苦労した。2年未満が多いのは、自治委員のなり手不足のために輪番制にしているのか他の校区の現状をお聞きしたい。

65歳までの定年や70歳までの継続雇用などで、70歳以上での地域デビューでは、祭りや防災などの取り仕切りは難しい。60歳を過ぎたあたりから地域デビューできる支援を行政、企業にお願いしたい。

また、民生委員の欠員が11地区あり、高齢化となり手不足が深刻化している。次の改選で更に増える可能性が高く早めに手を打っておく必要がある。

(3) 市内に広がる鳥獣被害の対策について

(補足説明者：相良 亜寿香 議員)

① 旧下毛の現対策では不十分

② 旧市内のイノシシ・シカ・サル出没への対策

【私の提言】

猟友会の支部ごとに縄張りがあり、ハンターがどこでも猟ができる状況にないと聞いている。行政が主導して、どこでも猟ができるように、この縄張りを撤廃すべきである。

また、ハンターの高齢化、減少により、捕獲できる頭数の減少が危惧されるため、地域おこし協力隊(5人程度)で鳥獣バスターズを組織し、集中的に捕獲を行う体制の構築が必要である。



有害鳥獣従事者 (R6年度)

	わな		銃		わな+銃		合計	
	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢
中津支部	9	64.6	18	66.4	17	67.4	44	66.4
三光支部	14	69.2	6	62.8	6	64.6	26	66.7
本耶馬溪支部	22	71.7	1	43	7	69.4	30	70.2
耶馬溪支部	43	67.3	3	67	11	68.2	57	67.5
山国支部	24	68.4	1	73	9	70.8	34	69
合計	112	68.24	29	62.44	50	68.08	191	67.96

NPO法人 大分有害鳥獣管理会	1	72	3	45.6	6	69.1	10	62.4
--------------------	---	----	---	------	---	------	----	------

8. 議会人事

議長 林 秀明 65歳
角木町 (当選3回)



副議長 角 祥臣 73歳
本耶馬溪町曾木 (当選3回)



■ 3月議会終了後、私の議会の役職が変更となりました。

人口減少対策特別委員会副委員長、議会運営委員会委員
総務企画環境委員会委員、広報広聴委員会委員

“何をするにも元気な体があつてこそ”

私ごとで恐縮ですが、昨年12月、肛門管がん(ステージ1)が発覚し、1月27日に北九州市立医療センターに入院、29日に悪性腫瘍の摘出と人工肛門造設手術を受けました。幸いにも早期発見のため転移はなく、2月13日に退院することができ、15日から公務に復帰することができました。

ちょうど3月議会の一般質問の通告時期と重なったため、今議会では一般質問をすることができませでした。しかし、大きな手術にもかかわらず退院後から公務に復帰し、3月議会を休むことなく務めることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

あらためて、「何をするにも元気な体があつてこそ。体の健康は何よりも大事である」ことを痛感しました。これからは、自身の体を労わりながら、議員活動に精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



編集後記 (ひとりごと) 3月の寒波で震えあがっていたら、いっきに初夏を思わせる暑さにびっくり。春物の服を着る間もなく半袖シャツに。地球温暖化の影響で、過ごしやすい春と秋がなくなり、四季が「二季」になるのではと心配している今日この頃です。(まさとし)